

前年度より黒字幅は縮小するも 経常収支で黒字決算

○一般勘定（健康保険分）

収入合計	22億4,425万円
支出合計	20億3,920万円
収支差引額	2億505万円
経常収支差引額	1億6,436万円

一般勘定（健康保険分）

6月19日に開催された第111回組合会で、当組合の令和元年度決算が可決・承認されましたので、その概要をお知らせします。

令和元年度は、前年度の保険料率を維持して事業運営を行い、経常収支で1億6、436万円を残すことができました。前年度に引き続き黒字決算となりましたが、黒字幅は前年度より縮小しております。収支状況をみると、保険料収入の21億6、775万円に対して、支出では保険給付費が9億18万円、高齢者医療制度等への納付金が総額で8億6、676万円となり、前年度に比べ、保険給付費が6、229万円増加、納付金が1億6、548万円増加しています。保険料収入も1億2、781万円増加していますが、保険給付費と納付金の合計額が保険料収入に占める割合は、前年度より大幅に増加し、約81・5%となっています。

健診をはじめ皆さまの健康づくりに資する保健事業費には1億7、405万円を支出しています。皆さまには当組合の保健事業を積極的に活用され、ぜひ健康寿命の延伸に役立てていただきたいと思っています。

先般、健康保険組合連合会（健保連）が発表した「2020年度健康保険組

合予算早期集計結果」によると、全国の健保組合における2020年度の経常収支差引額は2、316億円の赤字予算となる見込みです。さらに、2月の予算編成後に参考として取りまとめられた「新型コロナウイルスの影響による収入面の財政影響」では、リーマン・ショック時と同等の影響が平均標準報酬月額、平均標準賞与額に発生したと仮定して、保険料収入は予算に比べ約4、000億円の減少が見込まれています。支出では、法定給付費が前年度比1、257億円増、拠出金が前年度比886億円増の見込みとなっています。

当健保組合におきましては、令和元年度の経常収支で黒字を計上しましたが、新型コロナウイルスの感染拡大という脅威は医療保険にも多大な影響を与えることが予測されており、被保険者数の減少に伴う保険料収入減少や増加していく納付金、高額薬剤の保険適用などによる医療費の増加等、実質的に厳しい財政状況が続くものと思われます。

本年度も疾病予防や特定健診・特定保健指導を保健事業の中心に据え、日々、組合員の健康管理に対する取り組みを進め、引き続きジェネリックの使用促進をはじめ医療費通知の発行など、財政健全化への取り組みを行ってまいります。皆さまにおかれましては医療費適正化へのご理解・ご協力をお願いいたします。

収支のわりあい

（単位：千円）

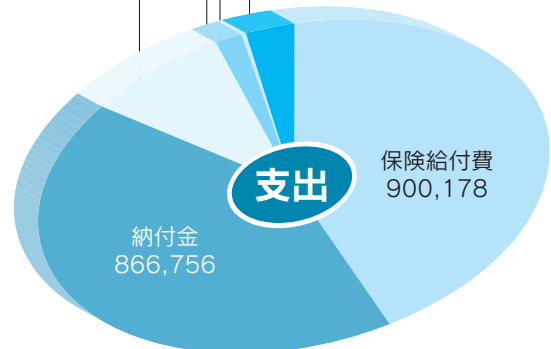
調整保険料収入 33,598
国庫負担金収入 525
国庫補助金収入 13,816
財政調整事業交付金 25,913
雑収入 2,643

財政調整事業拠出金 33,376
保健事業費 174,048

連合会費・積立金・雑支出 5,367
事務費 59,472



収入合計 2,244,248千円



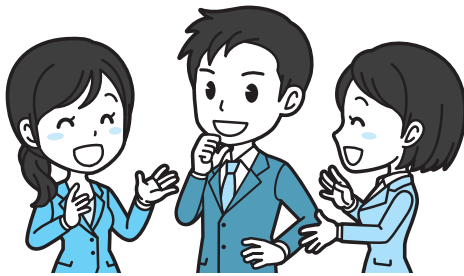
支出合計 2,039,197千円

決算総額 22億4,425万円

令和元年度 収入支出決算概要表

● 収 入

科 目	決算額(千円)	被保険者1人当たり額(円)
保 険 料	2,167,753	554,980
国庫負担金収入	525	134
調整保険料収入	33,598	8,602
国庫補助金収入	13,816	3,537
財政調整事業交付金	25,913	6,634
雑 収 入	2,643	677
合 計	2,244,248	574,564



● 支 出

科 目	決算額(千円)	被保険者1人当たり額(円)
事 務 費	59,472	15,226
保 険 給 付 費	900,178	230,460
{ 法定給付費	873,551	223,643
{ 付加給付費	26,627	6,817
納 付 金	866,756	221,904
{ 前期高齢者納付金	373,411	95,599
{ 後期高齢者支援金	493,298	126,292
{ 病床転換支援金	2	1
{ 退職者給付拠出金	45	12
保 健 事 業 費	174,048	44,559
財政調整事業拠出金	33,376	8,545
連合会費・積立金・雑支出	5,367	1,374
合 計	2,039,197	522,068

経常収入合計	経常支出合計	経常収支差引額
2,170,184千円	2,005,821千円	164,363千円

令和元年度主要 保健事業

▼ 疾病予防

- ・ 人間ドック 被保険者 2,605名
被扶養者(配偶者) 609名
(4月1日時点で30歳以上の被保険者および被扶養者の配偶者の方を対象)
- ・ 婦人科検診 子宮頸癌 806名
乳癌 エコー 665名 マンモ 337名
- ・ 50歳以上の男性 前立腺 813名
(人間ドック受診時に併せて実施)
- ・ インフルエンザ予防接種 被保険者 3,379名
被扶養者 592名
(被扶養者は、1,000円を上限に補助)
- ・ 保健師による健康相談(被保険者対象) 延べ562名

▼ 特定健康診査

- ・ 特定健康診査(人間ドック受診者を含む)
被保険者 1,823名 被扶養者 511名
(年度内に40歳になる被保険者および被扶養者の方を対象)

▼ 特定保健指導

- ・ 特定保健指導 延べ1,411名
動機づけ支援 374名 積極的支援 1,037名
(人間ドック等の健診結果による対象者の方)
(組合保健師、外部委託、受診医療機関での実施)

▼ 保健指導宣伝

- ・ 医療費のお知らせ
(毎月)健康増進支援Webサービス「Pep Up」による通知
(年間)紙による通知
- ・ ジェネリック医薬品との差額通知
(年4回 3月、6月、9月、12月)
健康増進支援Webサービス「Pep Up」による通知
- ・ 育児雑誌の配付 41件(新生児誕生の家庭を対象)
- ・ 育児指導書の配付 29件(第一子誕生の家庭を対象)
- ・ 若年層の保健指導 延べ178名(30歳～39歳の被保険者を対象)

▼ 体育奨励

- ・ ウォーキング・キャンペーン
第6回 参加者 903名 目標達成者 619名
第7回 参加者 980名 目標達成者 690名
(被保険者を対象50万歩を目標に実施)

令和元年度 収入支出決算概要表(介護保険分)

● 収 入

科 目	決算額(千円)	介護保険第2号被保険者たる被保険者等1人当たり額(円)
介 護 保 険 収 入	218,077	119,625
繰 入 金	5,000	2,743
国庫補助金受入	2,077	1,139
雑 収 入	8	4
合 計	225,162	123,512

● 支 出

科 目	決算額(千円)	介護保険第2号被保険者たる被保険者等1人当たり額(円)
介 護 納 付 金	206,643	113,353
合 計	206,643	113,353



国に代わって保険料徴収を行っている介護勘定の決算では、介護保険収入2億1,808万円に繰入金500万円等を加えた収入合計額2億2,516万円から2億664万円を介護納付金として国に納め、収支差引額1,852万円を準備金として残金処分しました。

各収支科目の詳細は決算概要表をご覧ください。



介護勘定(介護保険分)